

# さぬき市下水道事業 経営戦略 概要版

## 1. 経営戦略見直しの経緯と計画期間

下水道は、生活環境の改善、公衆衛生の向上、浸水対策などを目的とし、全国で整備が進められてきました。近年では、ゲリラ豪雨による浸水被害の増加、大規模地震などの災害に対応するため、下水道の必要性が高まっています。ただ、将来的には人口減少等に伴う使用料収入の減少や、管渠及び施設の老朽化に伴う大量更新時期の到来などの経営環境の悪化が懸念されています。下水道事業を将来にわたって安定的に継続していくために、現状と課題、これからの将来の見通しを整理し中長期的な経営の基本計画として平成28年度に策定した「経営戦略」を見直すこととしました。

**計画期間：令和7年度（2025年度）から令和16年度（2034年度）**

## 2. 事業概要

本市の下水道は、4つの事業を実施しております。

公共下水道事業と特定環境保全公共下水道事業は下水道整備を行っています。

農業集落排水事業と漁業集落排水事業は整備を終え、維持管理にシフトしています。

◆さぬき市下水道整備状況 (令和6年3月現在)

項目	全体	公共下水道	特定環境	農業排水	漁業排水
<b>人口</b>					
① 行政区域内人口	44,852人				
② 処理区域内人口	22,971人	16,784人	4,375人	1,185人	627人
③ 水洗化人口	19,341人	14,170人	3,608人	1,013人	550人
④ 普及率 ②/①	51.2%	37.4%	9.8%	2.6%	1.4%
⑤ 水洗化率 ③/②	84.2%	84.4%	82.5%	85.5%	87.7%
<b>面積</b>					
⑥ 下水道計画区域面積	2,024 ha	1,266 ha	425 ha	135 ha	198 ha
⑦ 下水道処理区域面積	1,367 ha	728 ha	306 ha	135 ha	198 ha
⑧ 整備率 ⑦/⑥	67.5%	57.5%	72.0%	100.0%	100.0%

## 3. 今後の見通し

### (1) 使用料収入の見通し

将来人口の減少に伴い、使用料収入は徐々に減少していきます。

単位：千円/千㎡

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
使用料収入	340,384	333,734	327,181	321,647	314,504	308,351	302,342	297,277	290,682	285,033	279,475
年間有収水量	2,106	2,064	2,024	1,989	1,945	1,906	1,869	1,838	1,797	1,761	1,727

### (2) 施設の見通し

主に処理施設の老朽化対策を行います。

単位：千円

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
管渠更新	176,200	150,000	80,000	80,000	90,000	90,000	90,000	110,000	90,000	90,000	90,000
ポンプ場改築	89,600	90,000	311,000	310,000	200,000	110,000	100,000	100,000	120,000	120,000	110,000
処理場改築	113,800	80,000	80,000	80,000	130,000	130,000	160,000	140,000	130,000	130,000	210,000
耐水化対策	26,300	90,000	70,000	50,000	50,000	90,000	70,000	70,000	70,000	70,000	0
計	405,900	410,000	541,000	520,000	470,000	420,000	420,000	420,000	410,000	410,000	410,000

# さぬき市下水道事業 経営戦略 概要版

## (3) 維持管理費の見通し

### ①統廃合（処理施設）による維持管理費削減

令和6年度に残りの統廃合対象施設の整備を行うため、令和7年度以降はさらに運転コストの削減が見込める予定です。

### ②物価高騰による維持管理の増加

近年の物価高騰の影響で、光熱水費、燃料費、薬品費、委託料、修繕費などが増加しており、経営が圧迫されることが想定されます。

## 4. 経営の基本方針と目標

### (1) 基本方針

1. 未普及地域の整備促進及び接続の促進（整備率、水洗化率向上）
2. 下水道施設の適切な維持管理（ストックマネジメント等による計画的実施）
3. 下水道事業経営の健全化（一般会計負担の軽減）

### (2) 目標

基本方針に沿って事業を実施した上での計画期間の目標は下記です。

目標指標	令和6年3月 (実績)	令和12年3月 (中間目標)	令和17年3月 (目標)
水洗化率	84.6%	84.0%	83.9%
経費回収率	69.2%	70.6%	70.5%
うち公共下水道(特管含む)	73.5%	80.4%	81.1%
企業債残高	60.86億円	32.96億円	26.56億円
一般会計繰入金	11.60億円	8.92億円	6.58億円

## 5. 投資財政シミュレーションと今後の取り組み

### (1) 投資財政シミュレーション

企業債償還額が年々減少していくことで、その財源である一般会計繰入金も減少していき、令和16年度には企業債残高は26億円になります。下水道使用料は減少しており、経費回収率を維持するためには、維持管理費の削減を図る必要があります。

単位：百万円

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
当年度純利益	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
下水道使用料	301	296	291	285	280	275	270	265	260	255
一般会計繰入金	1,128	1,106	1,027	981	892	824	758	705	684	658
企業債残高	4,867	4,409	3,986	3,621	3,296	3,058	2,886	2,772	2,686	2,656
経費回収率	71.8%	71.5%	71.3%	70.9%	70.6%	70.6%	70.7%	70.5%	70.5%	70.5%
公共下水道(特管含む)	81.1%	80.9%	80.9%	80.6%	80.4%	80.6%	80.9%	80.8%	81.0%	81.1%

### (2) 今後の取り組み

- ①収入増加：下水道未加入世帯への加入促進と不明水対策による水洗化率及び有収率アップ
- ②支出削減：省エネ機器の導入及び運転時間の最適化などによる支出削減、令和6年度の統廃合による維持管理費削減額